



林さえこの柏市議会



NO.3

平成28年第1回定例会

定例会が2月26日(金)から3月22日(火)まで行われました。

3回目の一般質問と委員会での議案審議はきちんと取り組めましたが、初めての予算審議は時間も足りず、満足できる内容ではありませんでした。来年はこの反省を活かします。

《林さえこ一般質問項目》

■子ども行政について

- (1)切れ目のない子育て支援体制
- (2)児童養護施設退所者への支援
- (3)学級閉鎖時の学童保育

■環境行政について

- (1)生きもの多様性プラン

■消費者教育について

- (1)石けん推進

■教育行政について

- (1)制服リユース
- (2)手洗い用石けん
- (3)柏北部中央地区新設中学校建設計画

《一般質問》

3月15日3月11日(金)、一般質問を行いました。柏市公式ホームページや市民ネットワーク・かしわのホームページから録画を見ることができます。「一般質問」とは、市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を、市長や担当部長などに求め、市が市民のための適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。柏市では、議員は年4回の定例会で一般質問を行うことができます。

貧困対策を学校でも…「制服のリユース」

2月に子どもの貧困の現実を伝える新聞記事が大きな反響を呼びました。中学校の制服の代金3万5千円を支払うことができず、入学式から不登校になってしまった生徒の実例と、制服リユースを行う学校を紹介するものでした。「義務教育は、これを無償とする」と憲法26条にありますが、実際はどうでしょうか?中学校入学時に制服・ジャージ・バッグ・靴などを全部新品で揃えると、柏市では6~9万円も掛かります。現代の日本では、公立校での義務教育においても保護者の負担が重いのが現状です。

子どもたちには無添加の石けんを…

柏市の中学校で使う手洗い用洗剤は、27年度から無添加の液体石けんを含む5種類の中から各学校で選べるようになり、それを市でまとめ買いすることで費用を抑えています。

しかし、このうちの2種類にはトリクロカルバンやトリクロサンという抗菌剤が添加されています。この化学物質は長期に渡って使い続けることで細菌が耐性を持ってしまうようになり、甲状腺にも悪影響を及ぼす可能性があるとして、アメリカの食品医薬品局が規制を強化しています。また別の1種類にはイソプロピルメチルフェノールという抗菌剤が入って

義務教育で制服を着用させるのであれば、本来その制服は無償で与えられるべきですが、せめてまず制服リユースの取り組みを全校に広げてほしい。柏市では現在20校中17校の公立中学校で、PTAや学校主催の制服リユースが行われているので、残り3校と市立柏高校での実施を要望し、前向きな答弁をいただきました。17歳以下の子どもの6人に1人が貧困状態にあるとされている日本。

学用品の備品化や指定品の廃止など、教育現場でも細やかな貧困対策が必要です。継続して見守っていきます。

保護者の負担を減らす為に、学用品の備品化についても以前から要望していましたが、今回初めて算数セットとピアニカの共有化を進めていくとの答弁がありました♪ 大きな一步です☆

油をリサイクルして作っている学校用の無添加固形石けんが、首都圏を中心2000校以上で採用され、徐々に広がって来ています。余計なものが入っていないシンプルで安心な石けんを子どもたちに使ってほしい。

今後も柏市に求めていきたいと思いま。保護者の皆さんからも学校へ要望していただけると嬉しいです。



ますが、皮膚や粘膜を刺激し、皮膚疾患を起こす恐れがあるため、旧厚生省が表示指定成分としていたものです。

抗菌剤が入っている石けんと入っていない石けんでは感染症の予防効果に差異がなく、抗菌剤は利点より弊害の方が大きいと指摘する専門家もいますので、この3種類を学校の手洗い用洗剤に選定することは危険と言えます。

また、有害化学物質を含む合成洗剤も避けるべきですし、着色料や香料は手洗いに必要ではないでしょうか。

全国的な流れでは、着色料や香料、酸化防止剤を一切加えずに、学校給食の廃食

地球環境を守るために…「有害化学物質削減」

普段何気なく使っているシャンプーや台所洗剤に、環境に悪影響を及ぼす恐れのある有害化学物質が多く含まれていることを、どれくらいの皆さんが知っているでしょうか？

2013年の家庭から排出された※PRTR法指定化学物質の内訳を見ると、第1位（ポリオキシエチレンアルキルエーテル＝AE）、第3位（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩＝LAS）、第4位（ポリオキシエチレンドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム＝AES）がすべて合成洗剤の成分で、全体の60%を占めています。

現在柏市では下水道普及率が89%ですが、下水道に繋がっていないうちの74%程度の家庭が単独浄化槽であり、概算で市民3万人のトイレ以外の生活雑排水がそのまま河川や手賀沼などに排出され、そこには年間270トン以上の合成洗剤が含まれてい

ると推測されます。また、下水道処理施設に流れた化学物質も100%は処理できないそうです。生物多様性を守るため、柏市は「生きもの多様性プラン」を制定していますが、有害化学物質削減の施策が不十分です。水生生物に悪影響を及ぼす恐れのある合成洗剤を削減するために石けんの推進を行うことは、近隣市町村の多くが行う最低限の施策であり、当然柏市も行うべきと訴えましたが、良い答弁は返ってきませんでした。

皆さんもご自宅でお使いの洗剤類の成分表をぜひチェックしてみてください。（※表示名と化学名が一致しない場合が多いので注意。）

環境に悪影響を与えると国が定めている化学物質が、体には無害なかどうかかも疑わしいところです。

※PRTR法…排出することで環境に悪影響を及ぼす恐れのある化学物質の排出量の報告を事業者に義務付ける法律。



《市民環境委員会にて》

3月15日、私の所属する市民環境委員会が行われました。柏市には「総務」「市民環境」「教育民生」「建設経済」の4つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属します。各委員会ではそれぞれの所管の議案について審議が行われます。予算や決算の審議を常任委員会とは別に行う自治体もあるのですが、柏市では決算のみ特別委員会で、予算はそれぞれの常任委員会の中で審議されます。

これ以上は支払えない…「国民健康保険」



今回は国民健康保険料の算定方法変更の議案について主に質疑を行いました。保険料の金額や率を条例に明記する明示方式から、算出方法のみを条例で定めて毎年保険料の変更が行われる告示方式に変更するという議案です。

告示方式にすると、直近のデータで算出することができるようになりますが、保険料の変更という市民にとって大きな問題が、議案の一つとして議会で審議されることがなくなり、膨大な予算書の1項目になってしまいます。

柏市では、以前から高すぎる国民健康保険料が問題となっていました。所得300万円のモデル世帯で、保険料額は年間48万円にもなります。今後も保険料を引き下げる見通しは立たず、更に負担が増えると予測されます。

高すぎる国民健康保険料が問題となっている今、保険料の変更は議案の1つとしてしっかり審議する必要があります。

また、これ以上の保険料は限界です。法定外繰入金を増やして、加入者の負担を減らしていくべきだと考えています。

くらしと政治のおはなし会 ～現役ママ議員としゃべろう～

くらしの困りごとから市政の大きな問題まで、わかる範囲でお答えします。

皆さんの声をお聞かせください♪

③4月28日(木) 10:00～12:00

②5月7日(土) 10:00～12:00

場所：林さえこ事務所

(市民ネットワーク・かしわ)

参加費：無料

申し込み：事務所に

ご連絡ください。

(飛び入り参加も大歓迎♪)

予定が合えば
出張おはなし会も
開催いたします☆
ぜひご相談ください。

